

放射性セシウムの追加的放出量 (Bq/h)

平成 3 1 年 1 月 2 9 日
福島県原子力安全対策課

東京電力では、1～4号機原子炉建屋からの現時点の放出量（セシウム）を、原子炉建屋上部等の空气中放射性物質濃度（ダスト濃度）を基に評価しています。

12月に実施された評価は下表のとおり、1～4号機の放出量の合計で、 5.4×10^4 Bq/h 未満であり、前月と同様に放出管理の目標値 (1.0×10^7 Bq/h) を下回っていることを確認しています。なお、これによる敷地境界における被ばく線量は年間 0.00029 mSv 未満と評価しています。

平成 30 年 12 月の状況

原子炉建屋	ダスト採取場所	セシウム 134 (Bq/cm ³)	セシウム 137 (Bq/cm ³)	追加的放出量の評価値 (Bq/h)	備考
1号機	原子炉直上部北西側	ND (検出限界 9.9×10^{-8})	ND (検出限界 9.9×10^{-8})	3.7×10^2 未満	前月は 1.7×10^2 Bq/h 未満
	格納容器ガス管理システム出口	ND (検出限界 3.4×10^{-6})	ND (検出限界 3.3×10^{-6})		
2号機 作業期間外	ブローアウトパネル排気設備入口	3.6×10^{-6}	3.6×10^{-5}	4.7×10^4 未満	前月は 3.5×10^3 Bq/h 未満 2重扉閉塞前作業期間外 2.6×10^4 Bq/h 未満 残置物撤去作業期間中
	格納容器ガス管理システム出口	ND (検出限界 1.1×10^{-6})	ND (検出限界 9.8×10^{-7})		
2号機 オベフロ調査 期間中	ブローアウトパネル排気設備入口	1.8×10^{-6}	2.1×10^{-5}	2.8×10^4 未満	5.1×10^4 Bq/h 未満 オベフロ調査期間中
	格納容器ガス管理システム出口	ND (検出限界 1.1×10^{-6})	ND (検出限界 9.8×10^{-7})		

3号機	原子炉直上部南西	ND (検出限界 1.0×10^{-7})	5.8×10^{-7}	7.1×10^3 未満	前月は 9.0×10^3 Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 1.1×10^{-6})	1.3×10^{-6}		
	燃料取出し用 カバー隙間 排気設備入口	ND (検出限界 1.2×10^{-7})	8.1×10^{-8}		
	燃料取出し用 カバー隙間 排気設備出口	ND (検出限界 1.1×10^{-7})	ND (検出限界 9.4×10^{-8})		
4号機	燃料取出し用 カバー隙間上部	ND (検出限界 1.0×10^{-7})	ND (検出限界 9.7×10^{-8})	1.3×10^3 未満	前月は 1.2×10^3 Bq/h 未満
計				5.4×10^4 未満	前月は 1.6×10^4 Bq/h 未満

(問い合わせ先 024-521-7255)